海外安全対策情報
（２０２５年１月～３月分）

在フィリピン日本国大使館

１　治安情勢

フィリピンでは、３年ごとに下院議員選挙、上院議員の半数改選、地方首長選挙を含む中間統一選挙が行われている。２０２５年は中間選挙の年であり、投票日が５月１２日（月）に予定されている事から、選挙応援地域への立ち寄りを避けるなどの危険回避措置に努める必要がある。

２　一般犯罪の傾向

（１）マニラ首都圏内（マカティ市、マニラ市等）にて、拳銃のようなものを使用した強盗事件の発生が昨秋から相次いでおり、複数の日本人が被害に遭っている。

犯行の背景は不明だが、外国人（日本人を含む）をターゲットとしている可能性がある。フィリピンでは、日本と異なり、許可を得れば一般人でも銃の所持・携行が認められているほか、未登録の銃器や密造銃も広く出回っており、銃器を用いた犯罪が多発している。在留邦人や旅行者・出張者におかれては、高い防犯意識を持つようにし、強盗に遭った際には、身の安全を第一に考え、絶対に抵抗してはいけない。

（２）依然として首都圏の観光地やショッピングモール等日本人が多く訪れる場所で声をかけられ、誘われるまま飲食を共にした結果、意識を失い、気がつくとホテルや路上に一人で放置され、金品が奪われるといった、いわゆる「睡眠薬強盗」が複数発生している。

睡眠薬強盗や窃盗の被害を防止するためには、親切そうに見えても知らない人について行かないこと及び初対面の人間から提供された飲食物には口をつけないことが重要である。犯人は老若男女いずれの場合もあるが複数でありターゲットは単独で行動する外国人を狙う事が多い。とりわけ日本人は狙われる対象となりやすいことを自覚するとともに、常に金品や貴重品は分散して保管する事が必要である。

（３）マニラ首都圏では、日本人を含む外国人男性を狙った買春絡みの恐喝、いわゆる美人局（つつもたせ）が多く発生している。多くの場合、声をかけてくる若い女性について行かなければ未然に防ぐことができるため十分に節度ある行動が求められる。また最近ではマッチング・アプリでのトラブルも増えている。見知らぬ人物の誘いには軽々に乗らないよう、またマッチング・アプリの利用に際しては十分注意する必要がある。

（４）依然としてマニラ首都圏においては、邦人が窃盗やスリ被害に遭う事案が頻発している。被害を防止するためには、日本人は狙われる対象となりやすいことを自覚して、自身の持ち物から注意をそらさないことが必要である。また、常に金品を分散しておくことも有効である。更に邦人や外国人がよく利用する飲食店内での窃盗、置き引きやスリが発生していることから、飲食店を決める際、出入口に警備員が配置されている飲食店を選ぶことも防犯の一助となる。

３　テロ・爆弾事件発生状況

邦人を被害者とする事件の発生は認められないが、安全対策には引き続き十分注意する必要がある。

４　日本企業の安全に関する諸問題

当地においては、一般的に企業及び個人に対する恐喝、脅迫、誘拐等が生じるおそれがあること、過去に日系企業（社員）や関連企業（現地法人）に対する脅迫事件も報告されたこと等を踏まえ、進出日系企業関係者は、企業及び社員の安全に関し注意する必要がある。

５　その他

フィリピンでは、全土において、指定された場所以外での喫煙を禁じる大統領令が施行されている。喫煙可能なスペースが限られる上、警察官や自治体の係員等が取締り活動を行っており、ホテル、飲食店、ショッピングモールといった商業施設等、すべての公共スペース（禁煙スペース）における喫煙はもとより、路上の歩行喫煙や吸い殻のポイ捨て等を見られると，通報され、罰金が科されることがある。

以上